

# THERMAL HYDRAULICS

熱流動部会ニュースレター (第 61 号)

AESJ-THD

NEWSLETTER (No.61)

May 26, 2008

## 部会長就任あいさつ

京都大学原子炉実験所

三島 嘉一郎

このたび前川勇前部会長から引き継いで熱流動部会の部会長に就任することになりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

この熱流動部会は、発足以来、今年でちょうど15年目になります。前身は熱流動研究連絡会で、初代委員長秋山守先生のご指導の下、順調に発展し、成合英樹委員長の時に、核融合研究連絡会の申し出に端を発し、部会(部門)制への移行が学会の企画委員会で議論され、その結果、希望する研究連絡会は部会への移行が認められるということになり、その当時から大変活発に活動していた熱流動研究連絡会は率先して部会への移行を希望したのでした。そして、成合委員長の下、班目春樹総務委員長がまとめ役となり、研究委員長だった私も参加させていただき、部会規約策定などの準備作業が進められました。1993年4月から熱流動部会として発足し、熱流動部会ニュースレター第1号が早くも同年4月30日に発行されています。これに初代部会長の宮崎慶次先生のご挨拶が掲載され、「原子力分野における熱流動は、単に原子炉冷却材の熱流動と云うにとどまらず、原子炉の工学的安全性や新型炉設計の中心的課題と密接に関連しております。また、最近の熱流動数値解析の発展にはめざましいものがあります。原子力学会の中核でもあり今後も益々発展が期待される分野でもあります。」と述べられています。宮崎先生のこのお言葉は15年経った現在でも生きています。原子力学会にはこれまで16の部会が設置されていて、最近の原子力界の大きな関心事は熱流動以外にあるとは言え、高経年化や放射性廃棄物の処理処分、再処理などの問題にも熱流動が関連するものがあり、熱流動部会が原子力学会の中核であることは間違いありません。

このような熱流動部会で、歴代部会長や幹事の方々

のご努力により大変活発な活動が展開されてきました。このような熱流動部会の部会長を引き継いで身の引き締まる思いです。正直に申し上げますと、いささか荷が重いのではと思いますが、これまで維持されてきた活動を低下させないように何とか頑張ろうという覚悟です。幸い、副部会長の秋本肇氏をはじめ幹事陣に強力なメンバーがおられますので、これらの方々に支えられてお役目を果たしたいと思っています。

部会運営については、歴代部会長及び幹事の方々様が様々な努力を積み重ねられ、成果を挙げておられますが、現時点で状況の変化に対応できていない面がないかどうか、会員サービスの面で十分か、などについて点検してみたいと思います。一例をあげれば、熱流動部会ニュースレターは、すでに第60号まで発行され、今号が第61号になります。これまでに発行されたニュースレターは、その時々原子力界の状況をうかがわせ、大変興味深い内容となっています。しかし、現時点で会員が求めている情報を提供できているのか、すでに歴代部会長が指摘されていますように、双方向の情報提供がなされているのかなどについて、ニュースレターのみならず熱流動部会ホームページについても点検してみたいと思います。これらについて会員各位のご意見をぜひ承りたいと存じます。

今年度の熱流動部会関係の主な催しとして、今年11月に沖縄でNTHAS6が開催されます。また、来年9月には金沢でNURETH-13が開催される予定で、その準備が着々と進められています。近年、熱流動関係の国際会議が数多く開かれ、整理を検討してはどうかのご意見もありますが、これら二つの国際会議は熱流動部会が開催する主要な会議ですので、これらをぜひとも成功させたいと考えています。会員各位のご協力をお願い申し上げます。

# 会員総会報告

## 熱流動部会第31回会員総会 議事録

- (1) 日時：平成20年3月27日（木）12:00-13:00
- (2) 場所：原子力学会 春の年会  
M会場（M1棟 M1-313）
- (3) 配布資料：
  - ① 熱流動部会 第31回会員総会 議事次第  
（a.議事次第、b.平成20年度役員候補者）
  - ② 平成19年度収支予算及び実績表
  - ③ 平成19年度熱流動部会運営委員会（第2回）  
議事録
  - ④ 部会配付金（平成20年度）
  - ⑤ 企画委員会平成19年度活動報告
  - ⑥ 研究委員会報告
  - ⑦ 国際委員会活動概要
  - ⑧ 広報委員会平成19年度下期活動報告
  - ⑨ 出版編集委員会活動概要
  - ⑩ 熱流動部会表彰委員会
  - ⑪ NTHAS6 資料

### 議事

1. 熱流動部会長挨拶（前川部会長）

今年と来年はNTHASやNURETHなどの熱流動部会主催の国際会議が続くため、総力を挙げて成功させる必要がある、また、学会活動は基本的にボランティアであるが、部会予算を有効に活用し、今後は旅費など必要経費への支出ができるようにし、部会の活性化を図ってほしい、旨の発言があった。
2. 総務委員会（坂場総務委員長）
  - 2.1 熱流動部会平成20年度役員候補（承認）

配布資料①b.により、平成20年度役員交代につき説明があった。三島部会長、秋本副部会長を始めとする来年度の役員候補が拍手にて賛成多数で承認された。
  - 2.2 熱流動部会予算（承認）

配布資料②の平成19年度決算、平成20年度予算の説明があり、拍手をもって賛成多数で承認された。
  - 2.3 運営委員会活動報告  
配付資料③により、平成19年度第2回熱流動部会運営委員会での議事概要の報告があった。また、

配付資料④に基づき、部会費配布金及び部会員数の推移について説明があった。

3. 企画委員会活動報告（守田企画委員長）

配付資料⑤により、秋季セミナー「Dr. フォーラム」の実施報告があり、このなかで、このDr. フォーラムについては別形態の開催も含めて検討する必要があるとの指摘があった。また、新たにタスクグループを立ち上げた新規受託事業推進タスクについての報告があった。
4. 研究委員会活動報告（宇井研究委員長）

配付資料⑥に沿って、「高速炉熱流動・安全評価」特別専門委員会及び「熱水力安全評価基盤技術高度化検討」特別専門委員会の活動状況についての報告があった。また、新規設立予定の委員会として、「二相流データベースの整備（更新）・詳細評価」研究専門委員会についての説明があった。
5. 国際委員会活動報告（望月国際委員長）

配付資料⑦により、本年11月に沖縄で開催される予定のNTHAS6について、予算措置などの準備作業の進捗状況の報告があった。NURETH-13については、2009年9月27日～10月2日に金沢で開催されること、及び各委員会委員長などの人選の状況について報告があった。また、本年10月に韓国で開催されるNUTHOS-7については、アブストラクト締め切りが延期されたことなどの報告があった。
6. 広報委員会活動報告（中村広報委員長）

配付資料⑧に基づき、部会ホームページの更新、ニューズレターの発行及びメーリングリストを用いた会員への情報提供などの活動について報告があった。
7. 出版編集委員会活動報告（大竹出版編集委員長）

配付資料⑨により、学会の6分野（伝熱流動）編集責任者及び学会論文誌編集委員の交代について報告があった。また、熱流動部門担当の投稿論文数の推移についての報告があった。
8. 熱流動部会表彰（杉山表彰委員長）

配付資料⑩により、今年度の熱流動部会各賞については応募がなかったこと、優秀講演賞については「2007年秋の大会」の対象講演発表のうちから4

件が優秀講演賞に選ばれた旨の報告があり、その選定理由の説明の後、以下の4名の受賞者に対する表彰式を行った。

1) 高サイクル熱疲労に関する実験研究； 平行三噴流体系での流体-構造連成解析による温度変動伝達挙動の評価  
日本原子力研究開発機構 木村暢之 氏

2) TSP による温度速度同時計測法の開発に関する研究  
東京大学 染矢聡 氏

3) 超高出力密度炉心 ABWR プラントの実用化に向けた技術開発(III)； (1) 環状流中の液膜構造に関する実験的検討  
大阪大学 後藤泰輔 氏

4) サブクール沸騰流中の気泡凝縮と流動に関する基礎研究  
東京工業大学 因幡徳昭 氏

9. その他 (三島次期部会長)

本部会のアクティビティの高い状態を維持継続して、より運営を活発にしていきたい、また、NTHAS、NURETH といった大きな国際会議の開催が今後予定されているが、これらをぜひとも成功させたいので部会員各位の協力をお願いしたい、との閉会の挨拶があった。

以上

---

## 秋季セミナー「Dr.フォーラム」講師推薦のお願い

---

熱流動部会および計算科学技術部会（共催）では、原子力学会「秋の大会」に併せて毎年開催しております秋季セミナー「Dr.フォーラム」の開催に向けて準備を進めております。本フォーラムは、学位取得後数年の方々を講師に迎えて学位論文での研究成果を講演いただき、次代を担う若い方々を会員各位に紹介するとともに、今後の活動への激励を行うものです。今年、高知工科大学（高知県香美市）で開催される「秋の大会」に合わせて実施する予定です。

今回で8回目となる秋季セミナー「Dr.フォーラム」は、最先端かつ完成度の高い研究成果についてまとまった内容がじっくりと聴けることから、毎年、参加者の皆様から大変好評を頂いております。そこで、皆様のお近くに熱流動や計算科学の分野で講師にふさわしい方がおられましたら、ぜひとも本フォーラムの講師にご推薦下さい。尚、本フォーラムの開催につきましては、6月下旬頃、別途、参加募集を案内しますので、部会員の皆様はその際にお申し込みいただくようお願いいたします。

本年度のフォーラムは、以下の日程・場所での開催を予定しております。

開催場所：国民宿舎 桂浜荘

<http://www.katsurahama.jp/index.html>

(「秋の大会」会場・高知工科大学から車で約30分：高知市浦戸城山830-25)

なお学会会場からは送迎バスでの移動となります。

日 程：平成20年9月6日(土)午後～9月7日(日)午前

- ・ 6日(学会最終日)午後2時頃から夕方7時頃までフォーラム第1部、その後懇親会(一泊)
- ・ 7日午前9時頃からフォーラム第2部、午前中に解散

講演者数：6人程度

「Dr.フォーラム」では、懇親会も予定しております。また、講師の方々の参加費(懇親会費、宿泊費を含む)は無料で、本フォーラムのためだけに会場(桂浜荘)にお越し頂く場合には、交通費をお支払いできます。

下段の講師推薦フォームにご記入いただき、担当までE-mailでご送付ください。ご推薦頂いた方々の中から人数等を調整し、改めて講師のお願いをさせていただきます。尚、準備の都合上、6月9日(月)を目処に推薦のご連絡を頂きますようお願いいたします。

-----  
【講師推薦フォーム】

\*講師の御氏名：

\*御所属：

\*電話番号：

\*E-mail：

\*御講演のタイトル：

(内容がわかる程度の仮題で結構です)

\*交通費支給の可否：

(「秋の大会」に参加される場合は支給できません)

\*講師承諾の有無：

(できれば推薦者の方から事前に御確認下さい)

\*推薦者の御氏名：  
\*御所属：  
\*電話番号：  
\*e-mail：

フォーラムの実施報告が熱流動部会のwebsite  
(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/division/thd/>)  
の「ニュースレター・アーカイブズ」にあります。  
(ニュースレター第60号)合わせて、ご参照下さい。

送付先：高田 孝 (大阪大学)  
(E-mail: [takata\\_t@see.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:takata_t@see.eng.osaka-u.ac.jp))  
(電話：06-6879-7895)

## 国際会議開催のお知らせ

### 第7回「原子力熱流動、運転と安全性に関する国際会議 (NUTHOS-7)」の開催予定

● 講演の申し込みは終了しておりますが、NUTHOS-7 (The 7th International Topical Meeting on Nuclear Reactor Thermal Hydraulics, Operation and Safety) への皆様のご参加をお待ちしております。

主催：原子力学会熱流動部会ほか  
会場：Grand Intercontinental Hotel Seoul  
(韓国・ソウル)  
会期：2008年10月5日(日) - 10月9日(木)  
参加登録費 (AESJ会員、8/9まで)：\$650  
(約68,000円)

詳細は以下のWebサイトにて、  
<http://www.nuthos-7.org/>

### 第6回「原子炉熱流動と安全に関する日韓シンポジウム (NTHAS6)」の申込期限

● NTHAS6 (6th Japan-Korea Symposium on Nuclear Thermal Hydraulics and Safety) へのアブストラクト提出 (講演申し込み) 期限が5月31日と迫っております。皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

主催：日韓の原子力学会熱流動部会  
会場：万国津梁館 (沖縄)  
会期：2008年11月24日(月) - 11月27日(木)  
参加登録費：未定  
アブストラクト提出期限：5月31日(土)

詳細は以下のWebサイトにて、  
<http://www.nthas6.org/>

## 平成20年度 熱流動部会役員

部会長 三島 嘉一郎 (京都大学)  
副部会長 秋本 肇 (JAEA)  
総務委員長\*\* 坂場 弘 (三菱重工)  
総務副委員長\*\* 大川 富雄 (大阪大学)  
広報委員長\*\* 宋 明良 (神戸大学)  
同副委員長\* 木藤 和明 (日立)  
研究委員長\*\* 宇井 淳 (JNES)  
国際委員長\*\* 望月 弘保 (福井大学)

企画委員長\* 高田 孝 (大阪大学)  
出版編集委員長\*\* 田中 伸厚 (茨城大学)  
同副委員長\* 川原 顕磨呂 (熊本大学)  
表彰委員長 前川 勇  
(カワサキプラントシステムズ)  
海外担当役員 二ノ方 壽 (東京工業大学)

\*:任期2年の1年目、\*\*:任期2年の2年目

---

## 国際会議カレンダー（Web のみに掲載）

---

熱流動部会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/division/thd/> より最新の情報を入手して下さい。

---

---

### <編集後記>

e-mail宛先 : [sou@mech.kobe-u.ac.jp](mailto:sou@mech.kobe-u.ac.jp)  
[kazuaki.kito.vp@hitachi.com](mailto:kazuaki.kito.vp@hitachi.com)

ニュースレターへの原稿は、随時受付を行っております。研究室紹介、会議案内、エッセイ等寄稿お願い致します。またニュースレターに関するご質問、ご意見、ご要望等ありましたら、ぜひ下記宛にe-mailをいただければ幸いです。熱流動部会に入会したい方、入会しているがメールが届かない方が身近におられましたらご相談ください。

|   |
|---|
| 熱流動部会のホームページ：<br><a href="http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/division/thd/">http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/division/thd/</a><br>からニュースレターの PDF ファイルは入手可能です。 |
|---|